

「JA 出資型農業生産法人（みらいアグリサービス株式会社（仮称）」の設立に向けて
JA 伊達みらい

JA 伊達みらいでは地域農業の将来を見越して「JA 出資型農業生産法人」（株式会社）の設立（7月予定）にむけて動きはじめました。JA 自らが地域の担い手として農地を借り受け農作業受託をし農業経営を行うものです。農業環境、特に高齢化や担い手不足・遊休農地の増加等地域を取り巻く農業の将来と、平成19年度より新たに導入される「品目横断邸経営安定対策」の受け皿としての農業生産法人を目指しています。

資本金：1000万円

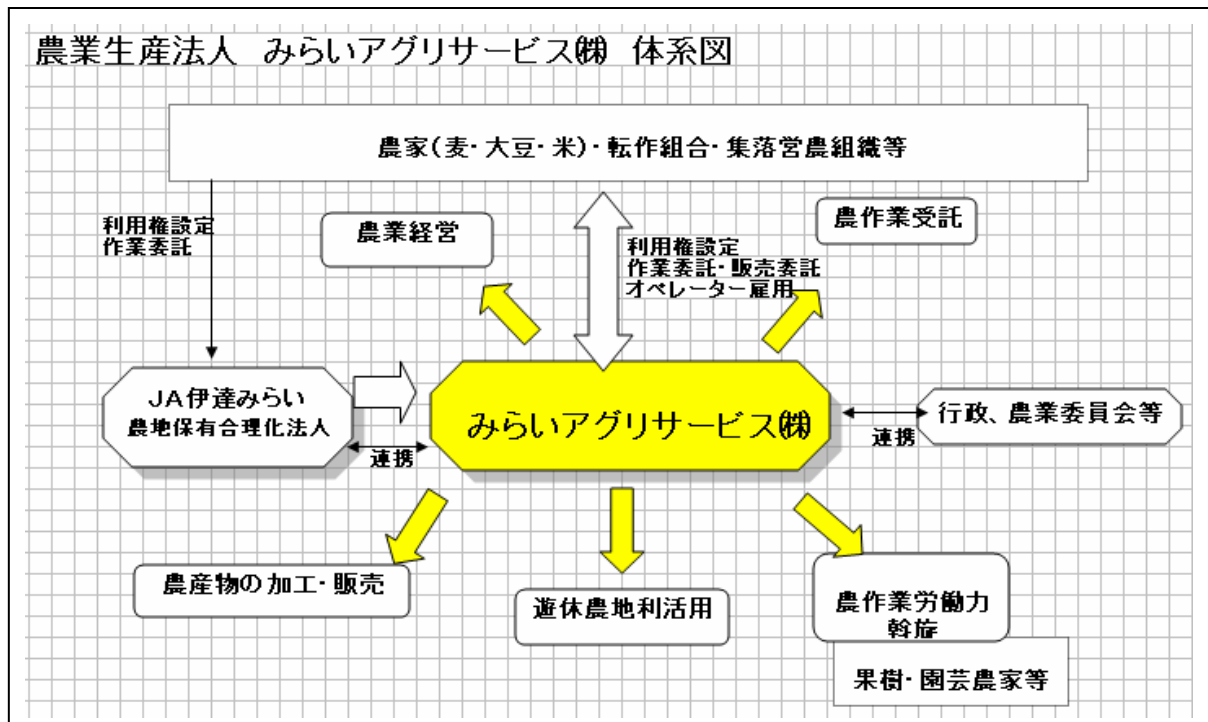
設立日：平成18年7月20日（予定）

主な事業は

- ① 農作業受託に関する事業
- ② 農業経営に関する事業
- ③ 遊休農用地利活用に関する事業
- ④ 農産物の加工・販売に関する事業
- ⑤ 労働力斡旋等



農業生産法人 みらいアグリサービス(株) 体系図



中山間地域の集落営農
JAみちのく安達

○安達地域における集落営農の取り組み

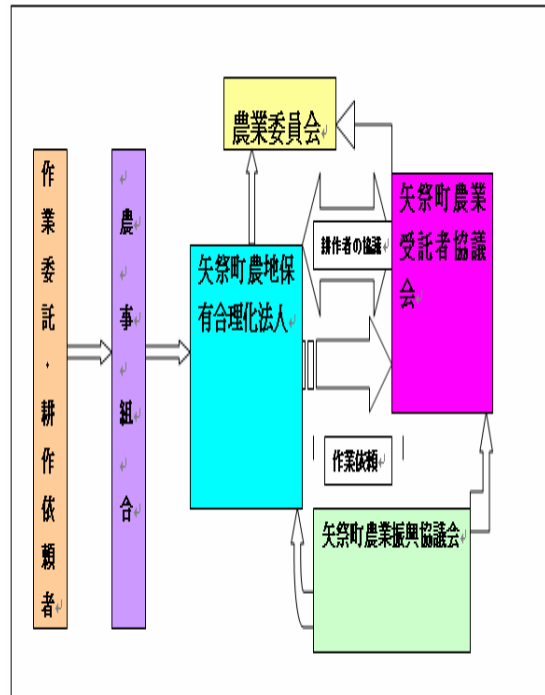
推進体制：各町村や各支所単位での「集落営農推進市町村チーム」（事務局：JAみちのく安達各グリーンセンター）を立上げ、各集落における推進体制が確立され今後期待が高まります。

○「**安達地域集落営農推進協議会**」ではJAみちのく安達の**JA独自の補助事業**の活用で研修会や作業受委託促進のための作業機械等の導入（一事業100万円の補助）を実施している。

JAみちのく安達の**機関誌「よもうJ」**では優良な集落営農の取り組み状況についての紹介がされ組合員からの認識が高まっています。今回は東和の笹の田・杉内・仲間集落における**中山間地域直接支払事業を活用した機械利用組合組織を核とした集落営農タイプの取り組み**について報告されました。今後、特定農業団体ならびに法人化にむけて期待されるところです。

矢祭町農業受託者協議会の設立
JA東西しらかわ

経営所得安定対策や農地合理化保有事業の取り組みについては、JAのみならず、地域全体で連携や合意が必要になります。そこで矢祭町では稲作経営についても後継者不足や価格低迷により将来像が見えず、今後は限られた担い手や請負組織に農地の保全や農地の貸借・作業受託に移行すると考えられます。その上で必要なのは地域全体でスクラムを組んで効率よく対応することです。このような情勢を背景に今年度4月に立ち上がったのが「**矢祭町農業受託者協議会**」です。本組織はJAをはじめ管内の農作業受託組織で構成し、関係機関と連携し作業委託や土地の集約・貸借を行います。



組織図